

大國魂神社氏子青年崇敬会 会報誌



令和5年10月1日 第2号



会長挨拶

大室 元



会員の皆様、氏子崇敬者の皆様におかれましては、日頃より

当会の活動にご理解ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の蔓延も収束へ向かいつつある中、令和四年十月に行われました定時総会及び懇親会では久々に関係者の皆様にもご参集頂き、和やかに開催することが出来ました。令和四年度の活動につきましては、慎重に開催の是非を見極めながら、予定した活動を実施することが出来ました。

さて、当会活動の一つに「軍艦多摩戦没者慰霊祭」があります。軍艦多摩は大正十年に軽巡洋艦として竣工、艦名は多摩川に因んで命名され、艦内には大國魂神社の御祭神である大國魂大神が祭祀されていました。各地で活躍しましたが、昭和十九年十月二十五日のフィリピン沖海戦で沈没し、艦長以下総員四四〇名が未帰還となりました。平成二十六年、多摩が沈没して七十年という年に、当会を中心として軍艦多摩顕彰会を組織し、慰霊碑を建立。以降毎年慰霊祭を斎行し、後世に伝えることが当会の重要な活動の一つとなっています。

令和五年度は創立二十周年という節目の年。これまで支えてくださった皆様に感謝するとともに、奉仕活動を通じた日本文化の継承、次世代の担い手育成、そして地域に貢献することをテーマに活動を深めて参ります。ご指導の程よろしくお願い致します。

事業報告



新穀献米

令和四年十二月十一日に全国氏子青年協議会主催の神宮新穀献米奉納事業に当会からも新穀奉納させていただきました。

本年は三年ぶりに伊勢神宮に直接新穀を奉納することができました。三年間コロナ禍ということもあり、郵送での奉納となっていました。三年前の奉納と異なり、郵送での奉納となっていました。三年前の奉納と異なり、郵送での奉納となっていました。三年前の奉納と異なり、郵送での奉納となっていました。

令和四年度甘酒・義援金

甘酒奉仕活動は当会発足当初から行っています。

コロナ禍で活動中止を余儀無くされていましたが、今年は四年降りに行うことができました。

今年例年より一日期間を短くしましたが、大勢の方にお越しいただきました。甘酒を楽しむにしていると言ってお言葉も多数いただいております。やっっている甲斐が有るなど、思ふ事業でも有ります。

準備をはじめ、販売では各地区交代しながら大勢の会員が協力しあつて奉仕活動に参加しています。また活動期間中に義援金を募っています。これは被災地や被災者に贈るわけでは無く、私達が神社に奉仕する立場で有ることから被災神社へと贈らせていただいております。

今年八三、三三三円集まりましたので、石川県の能登に有ります羽黒神社へと贈らせて頂きました。集めた義援金を、一か所の被災神社へしか渡せないことが心苦しくもありませんが御協力に感謝しながら今後も会員相互協力しあいながら活動を続けていきたいと思っております。

振る舞い酒、新年合同参拝



大國魂神社氏子青年崇敬会では大晦日、元旦（十二月三十一日、一月一日、二日）に宝物殿前にテントを張り、甘酒販売の横で振る舞い酒を行っています。振る舞い酒は酒造組合から大國魂神社に寄付を頂いたお酒で、毎年多くの参拝者の方に喜ばれています。

甘酒販売後には例年、役員・理事・会員・OBにて新年正式参拝を行っております。新年正式参拝は一年間の感謝を捧げ、新年の健康や幸福を祈願し、地域の発展、伝統文化の継承をしていけるよう、毎年行っております。

萬燈

当会にて作製致しました萬燈が萬燈大会で三位の結果を頂きました。

萬燈大会は大國魂神社例大祭期間中（四月三十日から五月六日）の五月四日に大鳥居前で執り行われます。

萬燈は柱、盛花、上バレン、行灯、岩、下バレン、顔隠し、手隠しと八つの部材を組み立て作製され重さは四十キロから五十キロになります。

大会では各青年会が出来栄えと振り方を競います。当会で奉納した萬燈は浦安の舞をイメージして



作製しました。浦安の舞は神事において神様に奉納するために奏される神楽です。前半の扇舞と後半の鈴舞で構成されており、手隠しの絵に扇舞、盛花に鈴舞で用いられる神楽鈴。バレンの花は装束に使用されている若草色を用いまして巫女さんをイメージ致しました。

浦安の「うら」とは心を指す古語であり「うらやす」で心中の平穏を表す語であるとされています。そのような意味合いから、昨今の情勢におさまして皆様の心中の平穏を願い当会一同、心を込めて作製致しました。



茅の輪

茅の輪部会では、例年六月中旬頃に茅の輪を制作し奉納しています。茅の輪とは、千茅を束ねて輪にし竹の支柱で頑丈に固定して立たせたものです。その中を、八の字を描くようにくぐる茅の輪くぐりは、年始めから半年の罪穢れを祓い、夏以降の半年を新たな気持ちで迎えるための神事です。

制作に使用する材料である千茅と竹は、府中市内の方々や当会の活動にご理解頂いた方などのご協力を賜り採取させて頂いております。制作に必要な道具、車両、資材は当会の会員やゆかりのある企業様からお借りしています。作業には職人の技術が必要な工程があります。



り、例年多くの職人や企業様にもご参加頂いています。この活動が開始した当会発足間もない頃から、このような方々の支えにより現在に至るまで毎年制作を続けてこられました。

制作に携わるメンバーも今回が初めての方もおり、年齢層も一段と若くなりました。技術の継承や企画、運営は簡単ではないですが、参加者全員で協力して前年より立派な茅の輪を作ろうと制作に励んでいます。

「六月は大國魂神社の茅の輪を観に行こう」と神社を訪れる方が多くなるよう今後とも活動を続けて参ります。

全国氏子青協東京大会

全国氏子青年協議会創立六十周年記念第六十一回東京大会に参加させて頂き、東京都氏子青年協議会の一単位会として代六十一回大会にお手伝えさせて頂きました。

明治神宮で正式参拝のち、神社本庁で総会を行い明治神宮会館で彬子女王殿下に御台臨頂き大会が開かれました。

大会では当会の名誉会長でもあります大國魂神社猿渡昌盛宮司も御登壇し我々も身の引き締まる思いで参加させて頂きました。

祝賀会では岸田総理大臣、小池百合子東京都知事のお祝いの言葉を頂き賑やかに執り行われました。江戸消防記念会による木遣りパフォーマンス。テーマの「粋と絆」を体感した素晴らしい大会でした。

各府県の氏子青年協議会の皆様と交友できとても良い経験ができました。



すももも

夏の風物詩として、近郷近在の人々より親しまれている『すもも祭』は毎年七月二十日に斎行されます。その起源は源頼義・義家父子が、奥州安倍氏平定（前九年の役）途中、大國魂神社に戦勝祈願をし、戦に勝ち凱旋の帰途、戦勝御礼詣りのためこの祭が起りしました。その際神饌の一つとして李子（すもも）を供え、境内にすもも市がたつようになったのが、この祭りの名前の由来です。

当日神社では五穀豊穰・悪疫防除・厄除の信仰をもつ「からす団扇」「からす扇子」を頒布しています。この扇を以て扇ぐと、農作物の害虫は駆除され、又病人は直ちに平癒し、玄関先に飾ると魔を祓いその家に幸福が訪れるといわれ、これを受ける人達で境内は終日賑わい、参道には李子を売る店をはじめ多数の露天商が軒を連ねます。

二〇一五年よりすもも祭の際崇敬会として境内にてかき氷販売をしています。

試行錯誤して作ったすもも味のシロップにすももを乗せたかき氷は七月二十日にしか食べられない崇敬会完全オリジナルの限定か

き氷になります。

毎年このかき氷を楽しみにしていただいている方も多く夕方には完売してしまうくらい人気が出てきました。

平日の忙しい中会員の方々の協力が不可欠な事業となります。

感謝と共に今後ともご協力いただき、すもも祭かき氷事業を盛り上げていきたいと思えます。

氏子青年崇敬会研修会

この度令和五年八月二十七日に大國魂神社宮司の猿渡昌盛様、並びに府中市郷土の森博物館館長の深澤靖幸様を講師としてお招きしました。

研修会の内容としては、猿渡昌盛様からは『祭りとは大國魂神社について』現在の神社と言われるまでのお話、全国に沢山ある神社の種類、六所宮縁起等のお話を聞かせて頂きました。

深澤靖幸様からは、府中の神社に関わる歴史において、どのようなにして府中に国府が置かれることになったのか、国府が置かれたことにより都市化し、鎌倉時代以降も武蔵国の政治的中心であり続けた府中のお話等普段では聞けない大変貴重なお話を聞くことがで

きました。正しい府中の歴史を知るために研修会を今後も続けていきたいと思えます。よろしくお願ひ致します。

令和五年度活動予定

十月 総会

軍艦多摩戦歿者

慰霊祭参列

十一月 新嘗祭参列

十二月 全国氏子青年協議会

神宮新穀献米奉納参加

PR活動（甘酒奉仕）

一月二日まで

一月 新年正式参拜

二月 節分祭参列・警護奉仕

三月 祈年祭参列

三月 二十周年記念式典

五月 萬燈大会参加

例大祭参列

六月 茅の輪奉納

大祓式参列

七月 PR活動

（すもも祭奉仕）

八月 八朔相撲祭参加・助成

九月 忠魂碑清掃

府中市戦歿者慰霊祭参列

毎月一日・一五日 月次祭参列

奇数月最終日曜日 境内清掃

随時 役員会・理事会

入会のご案内

昔より、武蔵の国の平穏と繁栄をつかさどる、大國魂大神をおまつりする大國魂神社を中心として、青年の力を結集し、神社の伝統ある行事を守り後世に伝える活動、地域の発展・福祉の活動、会員相互の親睦をはかる活動など社会に貢献するために活動しております。多くの青年の方に、伝統文化の継承をしていただきたく呼びかけをしています。

・年会費

一般会員（一名） 二、〇〇〇円

夫婦会員（二名） 三、〇〇〇円

・年齢 十八歳以上

※入会をご希望の方は社務所までお越しいただくか電話にてご連絡下さいますようお願いいたします。

電話：〇四二―三六二―二二三〇
（大國魂神社社務所）